

科目区分：情報処理科目

授業科目名	情報処理入門					学期	曜日	校時
英語名	Introduction to Computer Sciences							
担当 教官名	小栗 清	単位数	2 単位	必修 選択	必修	後期	金曜日	2 校時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法								
<p>計算機やネットワークシステムを使いこなしていくために、頭の中にどのようなメンタルモデルを持っていけば良いかを、見えるものから初めて「構成要素」と「その動作」という観点で説明できるようにする。構成要素やその動作は階層的に作られており、その構造は物理的構造とは無関係である(すなわち目で見るができない)ことを説明できるようにする。UNIX の基本的なコマンドを使えるようにする。</p>								
テ キ ス ト 、 教 材 等								
教科書：UNIX 研究会編「SE のための UNIX 基礎」電気通信協会								
対象学生	成績評価の方法				教官研究室			
工学部 情報システム工学科 T 2 2 A	定期試験，課題レポート， 授業への積極的参加状況等を考慮して行う。							
授 業 計 画								
<p>第 1 回 オリエンテーション，UNIX の歴史 第 2 回 UNIX の特徴 第 3 回 マルチユーザ，ログイン，シェルとカーネル，オンラインマニュアル 第 4 回 階層的ファイルシステム，ディレクトリとファイル 第 5 回 ファイルシステムに対する操作 第 6 回 vi エディタ 第 7 回 先頭や最後を表示，ファイルやコマンドの検索、並べ替えなど 第 8 回 アクセス権 第 9 回 特殊記号，リダイレクション、パイプ 第 10 回 正規表現，ジョブ，プロセス 第 11 回 FTP，TELNET，アーカイブ，リンク 第 12 回 環境設定，シェルスクリプト 第 13 回 ネットワークの操作 第 14 回 UNIX のインストールとは 第 15 回 定期試験</p> <p>(予習・復習に関する指示) ・教科書にある操作は残らず自ら行うこと。 ・教科書と実際の計算機環境の相違点は講義中に指摘するので教科書に書込み，各自の教科書を信頼できるマニュアルとすること。 ・色々試してみても自分のメンタルモデルを正しい方へ修正していくことが重要。計算機はこちらを馬鹿にしたりしないので，思う存分試すこと。</p> <p>(オフィスアワー) ・月曜日の 3 校時，4 校時，教官研究室。</p>								